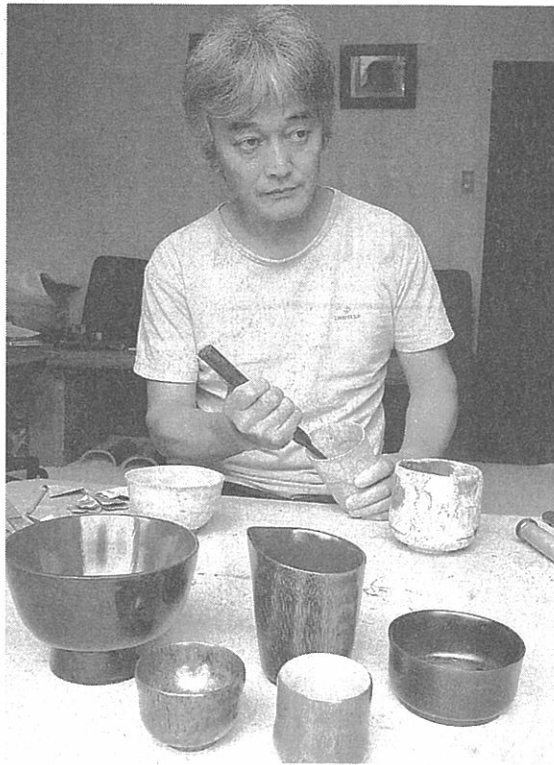


竹根の器を広める彫刻家 南部 治夫さん 52 (富山市)

漆が塗られた茶色の抹茶茶わんはふわりと軽い。手で持つまで陶器製と見間違えるでしょう」とちやめつ気たっぷりに笑う。

製作には、放置竹林が問題となっている呉羽丘陵で伐採された竹の根を使う。タケノコを逆さにしたような形で、一つずつ手作業で削り、漆を塗って茶わんやおちょこを作っている。昨年7月、特許庁に実用新案登録も果たした。竹根の茶わんは重さ1000gほどで、長く持っていて疲



ひま 2010

放置竹林 伐採し再利用

ない。表面に浮き出た竹の筋や根が、器ごとに異なる味わいを生み出す。「昔は、竹でかごや雪囲いを作った。プラスチックに代用されて使い道の減った竹を、地元を代表する工芸品に生まれ変わらせた」と熱く語る。

出身。井波彫刻の伝統工芸士を父に持ち、欄間に鳥や松などを彫る姿を見て、小さい頃から自然にノミを握り始めた。環境に興味を持ったのは、1990年代。東京の美術大学を卒業後、埼玉県所沢市にあった雑木林の中に住居とアトリエを持ったことがきっかけだ。開発が進み、雑木林が削られて住宅地になると、残された

は、1990年代。東京の美術大学を卒業後、埼玉県所沢市にあった雑木林の中に住居とアトリエを持ったことがきっかけだ。開発が進み、雑木林が削られて住宅地になると、残された

は、1990年代。東京の美術大学を卒業後、埼玉県所沢市にあった雑木林の中に住居とアトリエを持ったことがきっかけだ。開発が進み、雑木林が削られて住宅地になると、残された

樹林を侵食し、問題になっている。市や民間ボランティア団体と共に、竹林の伐採や整備に取り組んでいるうちに、切ら



竹の根

富山支局 千930-0094 富山市安住町7-18 076-441-2888 FAX 441-2880 メールはtoyama@yomiuri.comへ 広告 441-2691 高岡支局 千933-8543 高岡市下関町4-5 0766-26-6833 FAX 22-0140 一通信部一 魚津 0765-22-5700 砺波 0763-32-3500 北陸支社 千933-8543 高岡市下関町4-5 業務部 0766-26-6812 告 26-6863 告 26-6866 販 26-6825 業

富山支局 千930-0094 富山市安住町7-18 076-441-2888 FAX 441-2880 メールはtoyama@yomiuri.comへ 広告 441-2691 高岡支局 千933-8543 高岡市下関町4-5 0766-26-6833 FAX 22-0140 一通信部一 魚津 0765-22-5700 砺波 0763-32-3500 北陸支社 千933-8543 高岡市下関町4-5 業務部 0766-26-6812 告 26-6863 告 26-6866 販 26-6825 業

富山支局 千930-0094 富山市安住町7-18 076-441-2888 FAX 441-2880 メールはtoyama@yomiuri.comへ 広告 441-2691 高岡支局 千933-8543 高岡市下関町4-5 0766-26-6833 FAX 22-0140 一通信部一 魚津 0765-22-5700 砺波 0763-32-3500 北陸支社 千933-8543 高岡市下関町4-5 業務部 0766-26-6812 告 26-6863 告 26-6866 販 26-6825 業

大島ひふ科 院
高岡市木津南星町1-27-4
(ダイソー高岡きつ店うしろ)
TEL (076) 27-4111